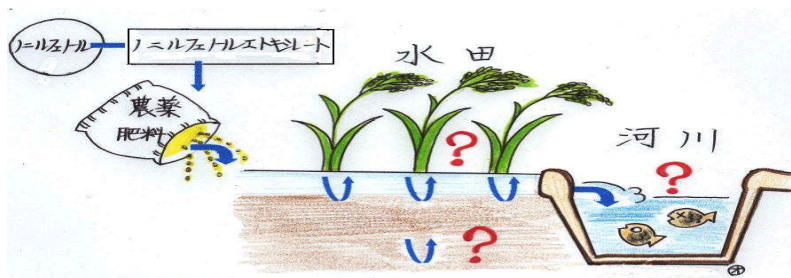
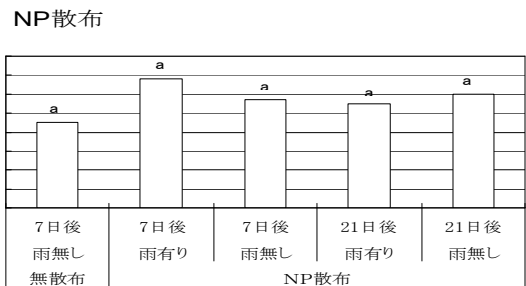
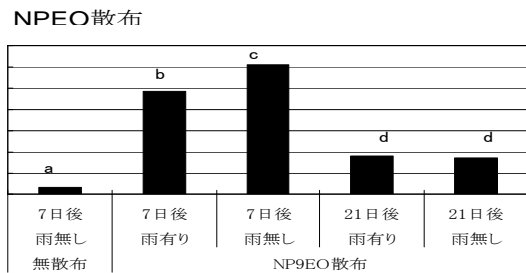
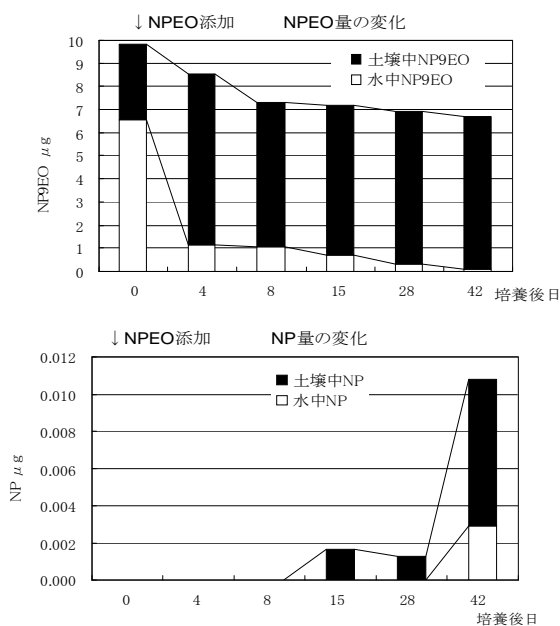


# ノニルフェノールの水稻への吸収と水系への影響

ノニルフェノール（以下、NP）は水生生物に対し内分泌攪乱作用等が懸念される化学物質です。農薬等の製造に使われている界面活性剤ノニルフェノールエトキシレート（以下、NPEO）は湛水土壌中で緩やかに分解し、NPがわずかに生成されます。しかし、NPやNPEOを土壌や田面水、あるいは直接茎葉に散布しても、水稻のNP吸収は無処理と差がなく、健康影響は無いと考えられます。また、現在では、NPEOを界面活性剤として使用することを産業界が自主規制しているので、水田から水系への環境影響も少ないと考えられます。



界面活性剤のNPEOは、農薬等により水田に施用されてきましたが、土壌中での挙動や分解産物であるNPの動態、作物への影響は不明でした。



\* 異なる符号は統計的に差があることを示します。

湛水土壌にNPEOを添加した結果、NPEOは湛水土壌中で緩やかに分解し、それに伴わずかにNPが生成します。

NPEOを水稻に茎葉散布すると付着されますが、分解産物であるNPの付着はみられません。

処理区	水稻茎葉中NP濃度 (mg/kg)
対照	0.027 a
NP添加	0.032 a
NPEO添加	0.036 a

土壌に10ppmと高濃度のNP、NPEOが存在しても水稻によるNPの吸収はありません。田面水からも同様です。

\* 異なる符号は統計的に差があることを示します。